

1. 第62回(平成28年度)秋期特別学術集会会長ならびに第106回(平成29年度)学術集会会長の募集について(公募のお知らせ)

日本病理学会秋期特別学術集会(秋期特別総会)の会長ならびに学術集会(春期総会)の会長は、定款施行細則の定めるところにより、いずれも理事会が選考し、総会において決定しています。

ここに、第62回(平成28年度)秋期特別学術集会会長ならびに第106回(平成29年度)学術集会会長を、下記の要領により募集いたします。

記

1. 応募は自薦であること。
2. 応募者は、第62回秋期特別学術集会会長の場合は平成28年11月1日に、また、第106回春期学術集会会長の場合は平成29年4月1日にそれぞれ満65歳以下の日本病理学会学術評議員であること。
3. 第62回(平成28年度)秋期特別学術集会会長の応募は、関東地区以外からの限定とすること(なお開催地は、会長所属機関と異なる利便性の高い場所を選択することもできる)。
4. 応募者は、日本病理学会学術集会改革案(平成18年5月1日決定 会報221号平成18年6月掲載)の趣旨を踏まえて、所定の用紙に学術集会に対する考え方、学術集会の具体的な実行計画、日本病理学会及び関連学会において近年に行った主要な学術活動等を記載すること。
5. 応募の締切りは、平成26年9月30日(消印有効)までとすること。

なお、所定用紙の交付または本件についての質問がありましたら、本学会事務局までお問い合わせください。

2. 「日本病理学会専門医研修・日本法医学会認定研修に於ける解剖に関する申し合わせ」について

この度、本学会と法医学会において、標記申し合わせを締結いたしました。ホームページ新着情報をご参照下さい。尚、運用の詳細につきましては、決定次第、会員の先生方へホームページ等を通じてお知らせ致します。

3. 第98回ドイツ病理学会への本学会員招聘派遣(報告)

日本病理学会の日独交流事業の一環としてこの度、深山正久理事長、中沼安二功労会員、小田義直常任理事、柴田龍弘学術評議員の4名が第98回ドイツ病理学会に招聘された。学会は2014年6月12日から15日の期間、Berlin, Alexander Platzに隣接したBerlin Congress Centerにおいて開催された。今回の学会会長であるMagdeburg大学Prof. Albert Roessnerの企画によりプログラム編成がなされ、それを学会(ドイツ病理学会会長はHeidelberg大学Prof. Peter Schirmacher)が承認する、という日本の病理学会学術集会と同じ形式がとられている。開催地は学会会長の所属大学に関係なくここ数年Berlinに固定されているようであるが、来年はFrankfurtで開催予定とのことである。今回のプログラムの重点テーマはProf. Roessnerが指定した“Inflammation and Carcinogenesis”と“Orthopedic Pathology Including Bone and Soft Tissue Tumors”の2点となっており、日独合同シンポジウムではこのテーマに沿った内容で日独双方のシンポジストにより発表が行われた。またドイツ病理学会一般会員のドイツ語でのプログラムでも同一テーマのシンポジウムが開催された。

日独合同シンポジウム(Joint Japanese German Symposium)の発表者と演題名は以下の通りである(プログラムより抜粋)。

6月13日

08.10-08.40

Peter Schirmacher(ドイツ病理学会理事長), Heidelberg, Germany: Inflammatory liver tumorigenesis

08.40-09.10

Masahashi Fukayama(深山理事長), Tokyo, Japan: Epstein-Barr-virus and gastric cancer

11.00-11.30

Yoshinao Oda(小田常任理事), Fukuoka, Japan: Activation of Akt-mTOR pathway and its therapeutic implication in spindle cell soft tissue sarcomas

11.30-12.00

Thomas Kirchner, Munich, Germany : Carcinogenesis and molecular subtyping of colorectal cancer

14.30-15.00

Yasuni Nakanuma (中沼功労会員), Kanazawa, Japan : Inflammation and cancer of the biliary tract

15.00-15.30

Christoph Röcken, Kiel, Germany : Stem cells in chronic gastritis and gastric cancer

15.30-16.00

Tatsuhiko Shibata (柴田学術評議員), Tokyo, Japan : Hepatocellular carcinoma and HBV/HCV infection

16.00-16.30

Frank Dombrowski, Greifswald, Germany : Diabetes mellitus and carcinogenesis

また、ドイツ病理学会とドイツ IAP 支部との合同の臓器病理診断講習会が同時に開催されており、以下のように小田常任理事が軟部腫瘍の病理診断コースを担当した。

6月14日

Diagnostic Courses in Cooperation with the German Division of the International Academy of Pathology

10.00-12.00 Yoshinao Oda, Fukuoka, Japan : Soft tissue tumors including entities currently under discussion

会場は日本の病理学会に比較してこじんまりとしており、参加者も比較的少ないと感じられた。Prof. Roessner にドイツ病理学会の実情を尋ねたところ、ドイツ病理学会会員は約 1,000 名、一方ドイツ IAP 支部の会員はその 2 倍近くいるとのことであった。ドイツでは病理で開業したり検査会社で診断したほうが大学で研究するより収入がはるかによいので、若手は研究に重きをおいた病理学会ではなく病理診断に重点を置いている IAP に数多く入会しているとのことであった。以前は兼業願いを出していれば大学教員も兼業で検査会社などの標本を診断することが可能であったが、数年前に大学教員の兼業が禁止され、大学教員は収入がかなり減ったというのもこの傾向に拍車をかけたそうである。

Keynote lecture は 7 演題であったが、6 演題はドイツ以外の国の講演者であった。また、一般演題は、口演、ポスター口頭発表はほとんどドイツ語であったが、ポスターは英語を用いているものがほとんどで、さすがに国際的であった。オーストリアはもとより、スイス、ハンガリーなどでドイツ語を使用している病理医も、母国固有の病理学

会に加えてドイツ病理学会に入会しており、学会内で活躍していた。日本病理学会もこれにならって学術集会の国際化を進め、アジア諸国との交流をより盛んにして行く必要があると思われた。

文責

深山正久 (東京大学人体病理学)

中沼安二 (静岡県立がんセンター病理診断科)

小田義直 (九州大学形態機能病理学)

柴田龍弘 (国立がん研究センター がんゲノミクス研究分野 分野長)

4. 会員の訃報

以下の方がご逝去されました。

岡田 憲彦 元学術評議員(平成 26 年 7 月 12 日ご逝去)

お知らせ

1. UMIN シングルサインオン (SSO) を活用した臨床研究・治験の e-learning システムについて

「厚生労働科学研究費補助金 医療技術実用化総合研究事業『大学の連携による職種・レベル別に対応した臨床研究・治験の e-learning システムを展開する研究』(H24-臨研基—一般—002) (研究代表者 小出大介)」のシステムが UMIN で稼動いたしました。

UMIN ID とパスワード (INDICE 用ではなく一般用) があれば、どなたでも利用可能で、臨床試験・治験に関する事項の e-learning が可能です。

参照ホームページ:

臨床研究・治験の e-learning システムのサイト

<https://moodle2.umin.ac.jp/moodle/>

2. 第 2 回「先端的質量分析イメージング施設の学術・産業共用促進事業」説明会

日 時: 平成 26 年 8 月 25 日 (月)

場 所: 浜松医科大学

申し込み締切: 8 月 21 日 (木)

参加費: 無料

連絡先: 浜松医科大学解剖学講座細胞生物学分野

電話: 053-435-2086

e-mail: ims@hama-med.ac.jp

詳細・お申し込み: 下記 WEB ページを参照下さい

http://www.hama-med.ac.jp/uni_index_ims_seminar_and_lectures_orientation_2nd.html

**3. 5th SGH Breast Pathology Course
November 21-22, 2014**

詳細 <http://www.sgh.com.sg/BreastPathologyCourse2014>

**4. The IAC Tutorial on Gynecologic and Non Gynecologic Cytology
November 23-25, 2014**

詳細 <http://www.cytology-iac.org/singapore-cytology-tutorial-2014>

5. 朝日賞推薦について

推薦期限：2014年8月29日（金）

ご希望の方は以下を参照の上、事務局宛ご連絡下さい。

<http://www.asahi.com/shimbun/award/asahi/>

問い合わせ：朝日新聞社 CSR 推進部 03-5540-7453

6. 公益財団法人風戸奨励会より

- (1) 平成26年度（第8回）「風戸賞」公募
応募締切：平成26年10月24日（金）必着
- (2) 平成26年度（第8回）「風戸研究奨励金」の公募
について

応募締切：平成26年12月12日（金）必着

詳細・応募書類他：<http://www.kazato.org/>

連絡・問い合わせ：

（公財）風戸研究奨励会 事務局

TEL：042-542-2106 FAX：042-546-9732

E-mail：kazato@jeol.co.jp